

## 水資源機構 低入札価格審査委員会 審議概要

平成22年度第2回低入札価格審査委員会については下記の通り書類の回議をもって審議が行われ、調査結果については了承された。

日 時：平成22年8月12日及び13日

### 委 員

委員長 小澤 一雅 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授  
尾野村 祐治 ジャーナリスト  
高田 敏明 弁護士

(五十音順敬称略)

### 議 事：【大山ダム管理用水力発電設備工事の調査結果について】

調 査 結 果：低入札価格調査制度における重点調査を評価値第1位の者について行い、機器価格の妥当性、品質管理体制の妥当性及び下請への支払額の妥当性について資料及びヒアリングにより確認した結果、当該契約の内容に適合した履行が行われると判断できる。

#### 審議の概要

- ・当該会社は、コスト縮減のための様々な努力及び工夫をしていると認められる。
- ・今回の結果を、機器の製造実績が無くとも一定の施工実績があれば入札に参加できるとした緩和策の成功事例として取り扱うのがよい。
- ・緩和策を積算等に反映できるのか検討するとともに、積算基準についての応札業者の理解を促進する必要がある。
- ・これまで受注実績の無い会社がコスト縮減の努力をして落札することは良いことである。日本の建設会社にはコスト縮減が求められている。コスト縮減により海外で活躍できるようになってほしい。そうすることによって、成長が期待される海外のマーケットで水資源開発の関連業者が企業発展できるのではないか。